

平成元年 茨城県の人口

調査年度：平成元年

はじめに

この調査結果は、茨城県常住人口調査規則に基づき、市町村から毎月報告を受け、「茨城県の人口と世帯(推計)」(月報)等により公表した結果について、昭和64及び平成元年分をとりまとめたものです。

人口の動向 (図—1)

- 昨年中の人口増加数は28,001人、増加率は1.00%

本県の人口は、昨年中に28,001人増加し、平成2年1月1日現在で2,832,701人となった。人口増加率は1.00%である。

昭和63年までは2年続けて人口増加の数、率ともに前年を上回り上昇傾向が強かったが、今年は数、率ともにその伸びが鈍化した。しかし依然として増加傾向にある。

男女別人口は、昨年中に男子が14,605人(増加率1.05%)、女子が13,396人(同0.95%)それぞれ増加し、平成2年1月1日現在で男子が1,412,118人、女子が1,420,583人となっている。この結果、性比(女子100人に対する男子の割合)は99.4となっている。

地域、市町村別人口 (表—1, 図—2)

- 昨年中の人口増加は16市47町村、逆に減少したのは4市21町村

県内を4地域別に人口増加をみると、4地域全てで増加を示し、県南地域が18,550人(増加率2.19%)で最も大きく、以下、県西地域4,067人(同0.73%)、県北地域3,520人(同0.31%)、鹿行地域1,864人(同0.72%)の増加となっている。

増加率を前年と比べると、県南地域、鹿行地域が上昇しているのに対し県北地域、県西地域は低下している。この結果、平成2年1月1日現在の地域別人口は、県北地域1,143,609人、鹿行地域

259,900人、県南地域866,630人、県西地域562,562人となっている。

次に、市町村別に人口増加をみると16市47町村で増加し、減少したのは4市21町村である。増加率の高い市町村は、土浦以南の常磐線沿線などに集中する傾向は変わらない。

増加率の高い市町村を順にみると、守谷町(11.24%)については他市町村に比べ、極めて高い数値を3年連続で示している。以下、瓜連町(4.75%)、竜ヶ崎市(4.37%)、藤代町(3.29%)、五霞村(3.17%)の順となっている。

増加数でも、守谷町(3,445人)が最も多く、以下、つくば市(3,421人)、竜ヶ崎市(2,317人)、土浦市(2,206人)、牛久市(1,759人)の順となっている。

一方、減少率の高い市町村は、美和村(△1.27%)、牛堀町(△1.27%)、大子町(△0.90%)、里美村(△0.73%)、笠間市(△0.67%)の順となっている。

減少数では、日立市(△368人)が最も多く、以下、大子町(△249人)、笠間市(△211人)、那珂湊市(△94人)の順となっている。

年齢3区分別人口 (図—3・4, 表—2)

- 割合は年少人口20.2%、生産年齢人口68.3%、老年人口11.5%

平成2年1月1日現在の県人口(2,832,701人)を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が570,844人、生産年齢人口(15～64歳)が1,935,268人、老年人口(65歳以上)が326,390人となり、県人口に占める割合は、それぞれ(20.2%)、(68.3%)、(11.5%)となっている。

年少人口は、戦後一貫して県人口に占める割合が低下し、今回も前年同期に比べ0.7ポイント低下し、数も14,553人減少している。

これに対し、老年人口は、昭和25年以降一貫し

茨城県常住人口調査結果

て上昇しており、今回も前年同期に比べ0.4ポイント上昇し、数も14,101人増加した。この結果、年齢別人口を集計し始めた昭和56年以降の1年間の伸び率としては過去最高を記録し、一段と高齢化が進行していることを示している。

平均年齢も、男子が35.7歳、女子が37.7歳となり、この1年間で各々0.4歳高くなっている。

次に、市町村別にみると、年少人口割合は、首都圏のベッドタウン化の性格をもつ市町村や鹿島郡南部地区で高く、県北西部地区の町村で低くなっている。

生産年齢人口割合は、常磐線沿線の市部などで高くなっている。

老年人口割合は、高齢化の目安とされる構成比が14%を超えている市町村は3市33町村である。とくに、県北西部地区の町村で高い数値を示しており、次に稲敷郡東部地区の町村が高い数値となっている。

自然動態（図—5）

- 昨年中の出生児数は29,375人、
死亡者数は17,867人

昨年中の自然動態は、出生児数29,375人、死亡者数17,867人で11,508人の増加となっており、増加率は0.41%である。

自然動態は、昭和40年代後半に増加率1%台の高い水準を示したが、昭和50年代に入ってからは一貫して低下を示し、今回も前年より0.03ポイント低下し、数で686人下回っている。

社会動態（図—6、表—3）

- 昨年中の転入者は133,160人、
転出者は116,667人

昨年中の社会動態は、転入者133,160人、転出者116,667人で16,493人の増加となっており、増加率は0.59%である。

社会動態は昭和42年まで転出超過であったが、昭和43年から転入超過となり、その後、その超過数が拡大した。しかし昭和54年(社会増加率1.08%)をピークに、以後、年々その率が低下傾向を示し、昭和62年には再び上昇傾向となったが、今回はその傾向が鈍化した。

社会動態を地域別にみると、県北地域のみ1,120人の転出超過であるが、県南地域は15,096人と極めて高い転入超過で、以下、県西地域2,013人、鹿行地域504人の転入超過となっている。

次に、市町村別にみると、転入超過が12市43町村、転出超過が8市25町村という状況である。

転入超過率(社会増加率)の高い市町村は、守谷町(10.67%)が最も高く、以下、瓜連町(4.76%)、竜ヶ崎市(4.04%)、五霞村(3.02%)、藤代町(2.98%)の順となっている。増加数でも、守谷町の3,269人が最も多くなっている。

逆に、転出超過率(社会減少率)の高い市町村は、美和村(Δ 1.27%)が最も高く、以下、牛堀町(Δ 1.18%)、大子町(Δ 0.83%)、日立市(Δ 0.74%)、笠間市(Δ 0.71%)の順となっている。減少数では、日立市の Δ 1,511人が最も多くなっている。

世帯数（表—4）

- 昨年中に17,518世帯増加し、
1世帯当たり人員も3.46人となる

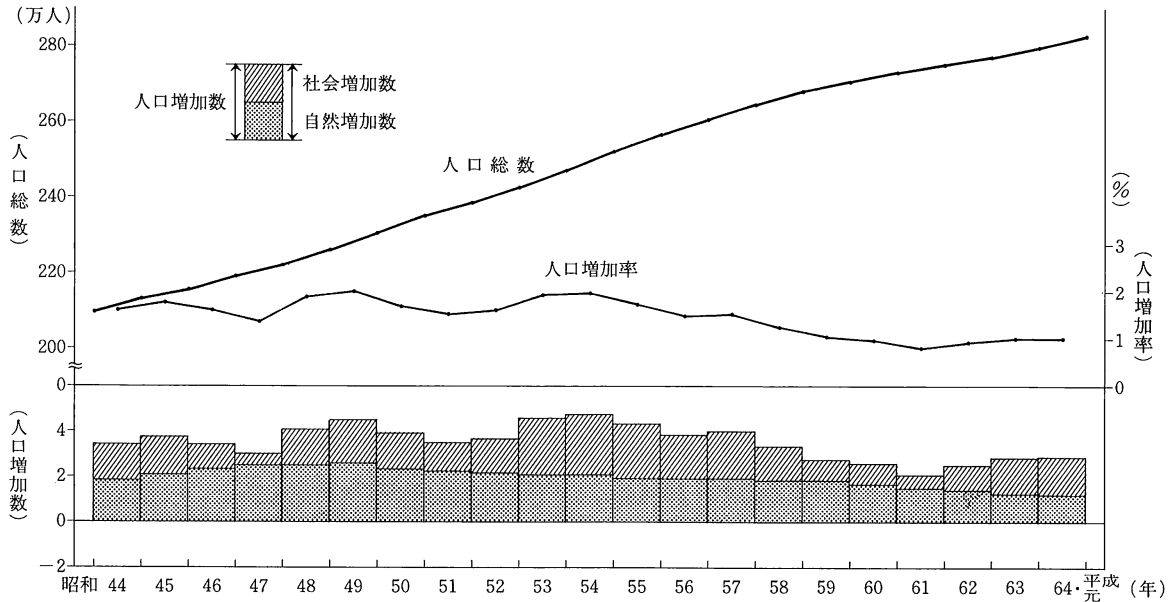
本県の世帯数は、昨年中に17,518世帯増加し、平成2年1月1日現在で817,777世帯となった。増加率は2.19%である。

これを人口増加率(1.00%)と比べると1.19ポイント上回っている。

このため1世帯当たりの平均人員が1年間で0.04人減少(10月1日現在比較)を示し、平成元年10月1日現在で3.47人(平成2年1月1日現在では3.46人)となっている。

(統計課・人口労働グループ)

図一 総人口、人口増加数及び人口増加率の推移 — 茨城県 —

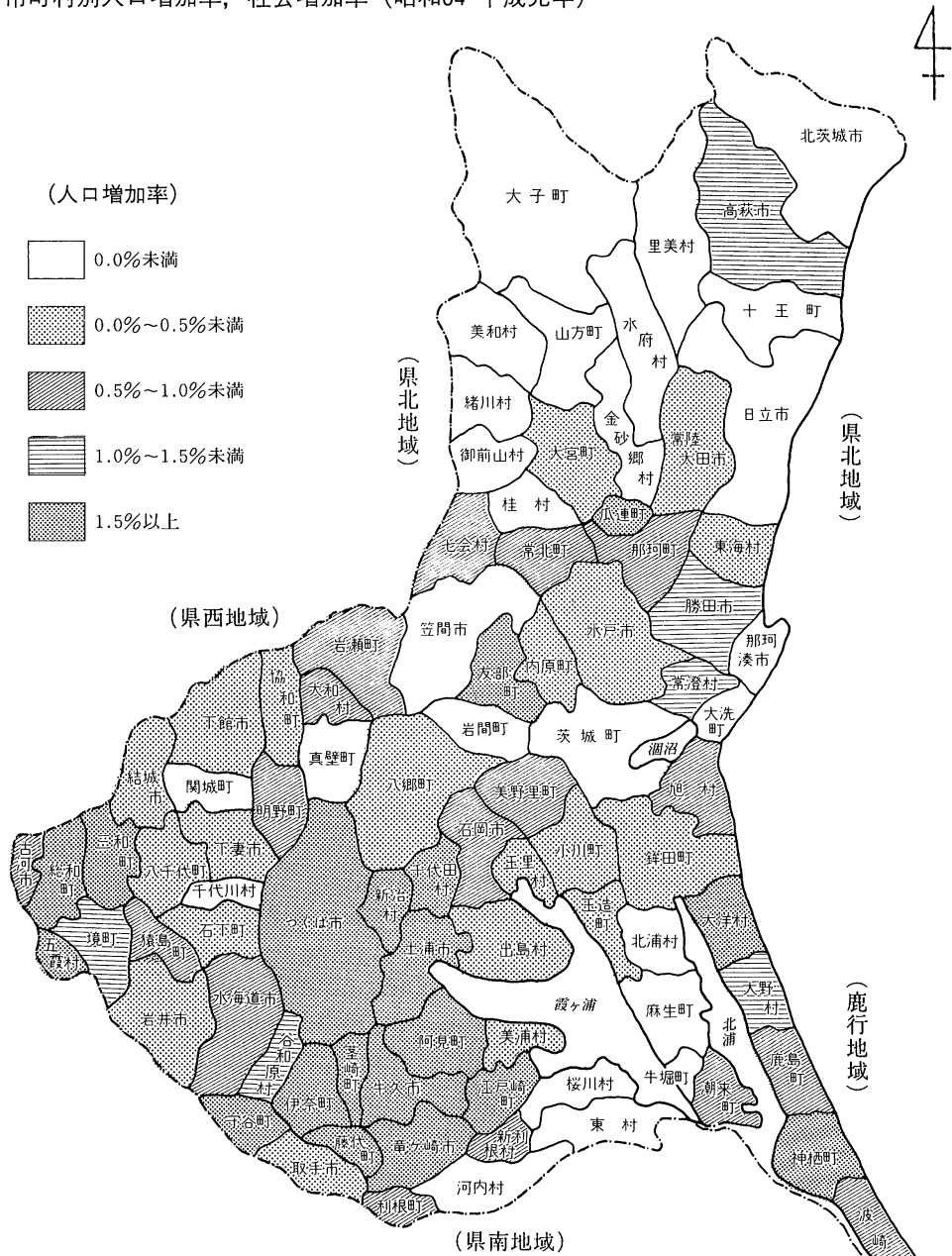


表一 昭和64・平成元年，市町村別人口増加率

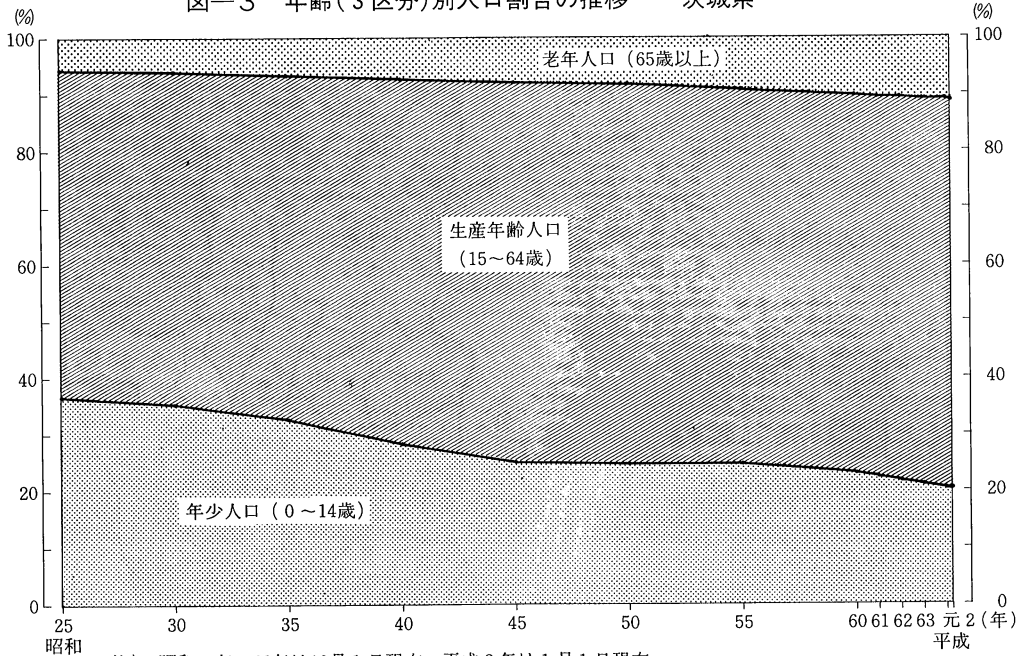
(単位：%)

人口増減	県北地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	人口増減
64・元年増加市町村	水戸市 0.35 友部町 1.67 常陸太田市 0.09 那珂町 0.93 小川町 0.02 大宮町 0.21 美野里町 0.79 十王町 1.00 内原町 0.31	鉾田町 0.40 潮来町 0.67	取手市 0.29 八郷町 0.29 牛久市 3.04 守谷町 11.24 莖崎町 2.34 利根町 0.97 出島村 0.37 玉里村 0.49	下館市 0.42 五霞村 3.17 下妻市 0.41 三和町 2.81 協和町 0.29 八千代町 0.44 総和町 1.61	市63町年を下回る
	勝田市 1.45 高萩市 1.00 常澄村 1.03 常北町 0.91 岩瀬町 0.50 東海村 0.33 瓜連町 4.75	旭村 0.81 大野村 1.88 大野村 1.33 鹿島町 0.80 神栖町 1.67 波崎町 0.70 玉造町 0.28	土浦市 1.78 千代田村 1.94 石岡市 0.57 新治村 1.75 竜ヶ崎市 4.37 伊奈町 2.11 つくば市 2.49 藤代町 3.29 江戸崎町 1.73 美浦村 0.49 阿見町 3.12	古河市 0.54 境町 1.25 結城市 0.46 水海道市 0.57 岩井市 0.32 明野町 0.51 大和村 0.65 石下町 0.49	63年を上回る市町村
	7会村 0.63		新利根村 0.93 谷和原村 1.21 猿島町 0.61		
64・元年減少市町村	日立市△0.18 山方町△0.48 桂村△0.32 金砂郷村△0.11 御前山村△0.16 水府村△0.23		河内村△0.03 桜川村△0.20	真壁町△0.03	
	那珂湊市△0.30 美和村△1.27 笠間市△0.67 里美村△0.73 大洗町△0.45 大子町△0.90	麻生町△0.49	東村△0.54		
	北茨城市△0.18 岩間町△0.15 茨城町△0.01 緒川町△0.45	牛堀町△1.27 北浦村△0.08		関城町△0.13 千代川村△0.41	

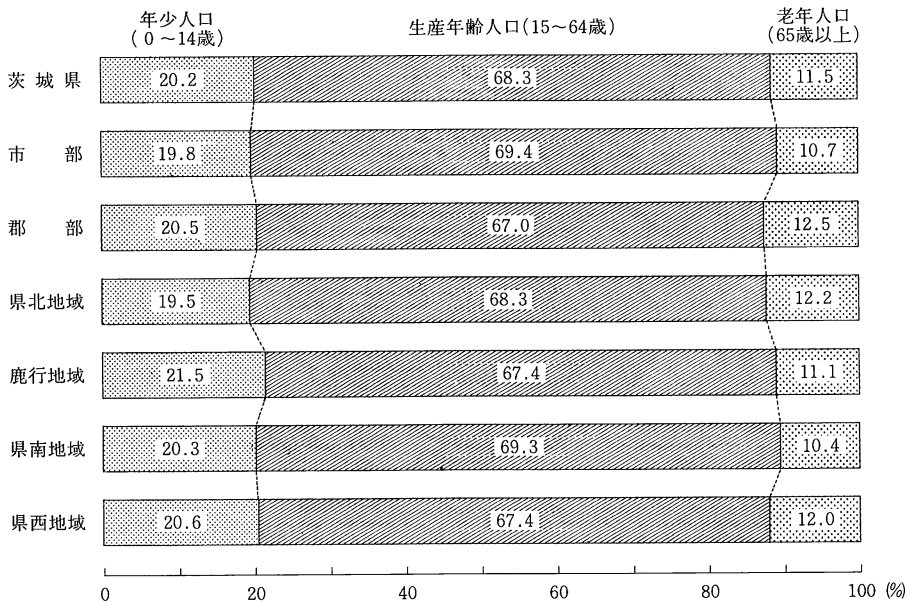
図一 2 市町村別人口増加率，社会増加率（昭和64・平成元年）



図一 3 年齢(3区分)別人口割合の推移 — 茨城県 —



図一 4 地域, 年齢(3区分)別人口割合 (平成2年1月1日現在)



表一 年齢3区分別構成の高い(低い)主な市町村
(年少人口割合)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	構成比(%)	市町村名	構成比(%)
1	守谷町	25.5	水府村	15.6
2	三和町	24.3	金砂郷村	16.0
3	鹿島町	24.0	緒川村	16.3
4	荃崎町	23.9	河内村	16.4
5	波崎町	23.1	桂村	16.8

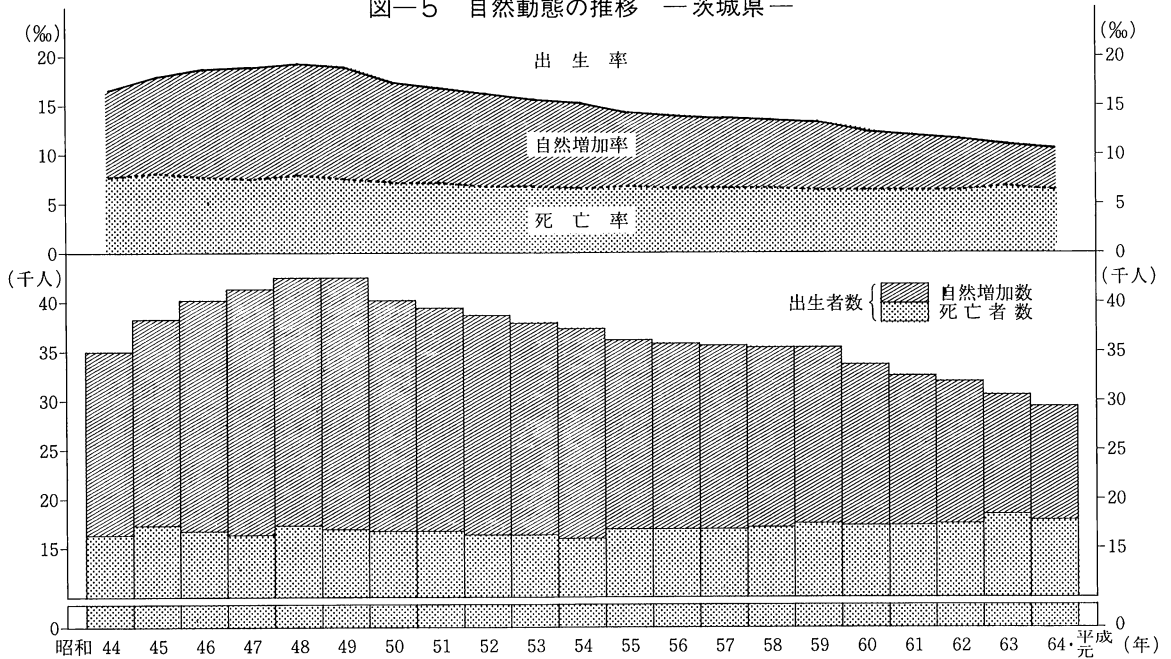
(生産年齢人口割合)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	構成比(%)	市町村名	構成比(%)
1	取手市	72.1	緒川村	61.2
2	勝田市	71.1	七会村	61.4
3	古河市	71.0	御前山村	61.5
4	東海村	71.0	里美村	61.5
5	土浦市	70.9	山方町	61.8

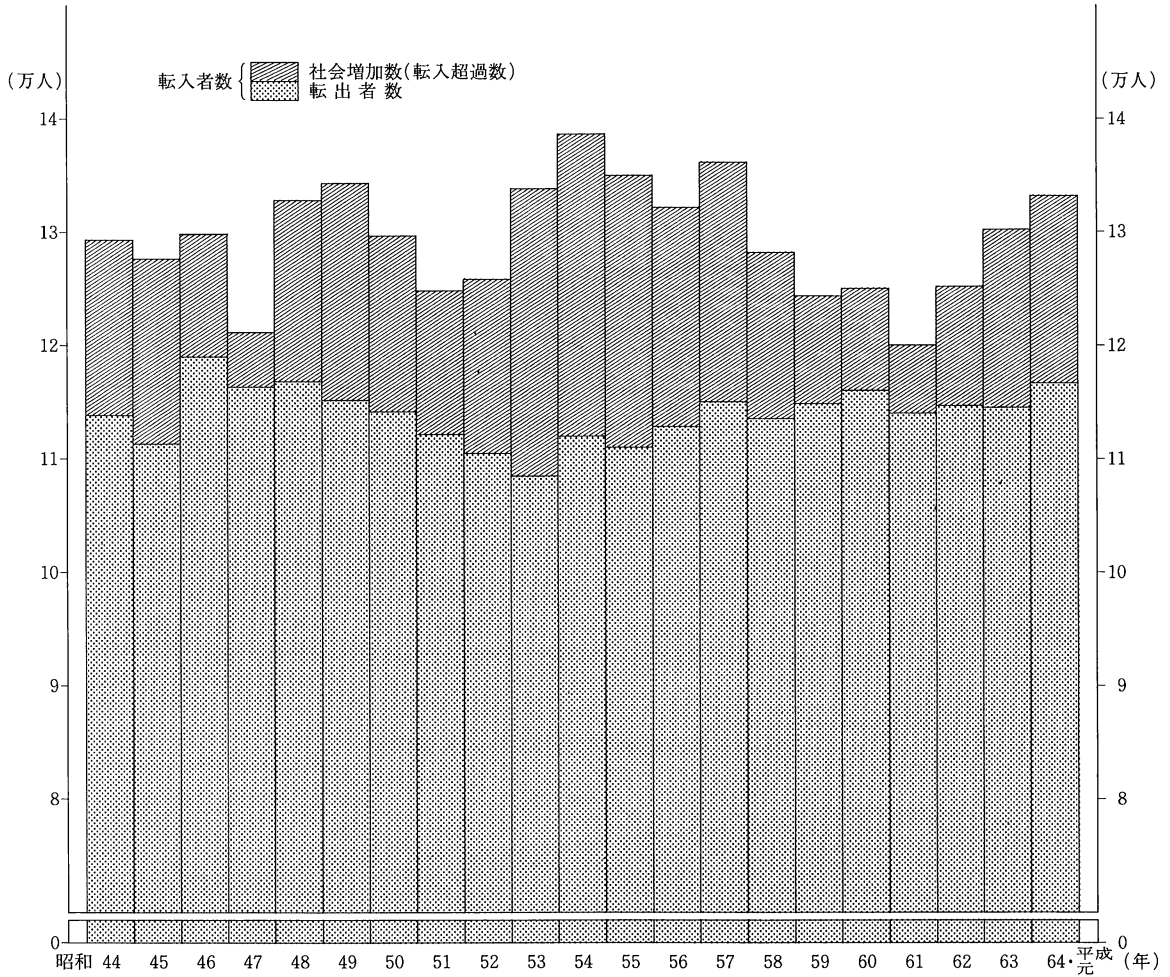
(老年人口割合)

順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	構成比(%)	市町村名	構成比(%)
1	緒川村	22.4	鹿島町	7.1
2	水府村	22.1	取手市	7.5
3	山方町	21.2	神栖町	7.5
4	金砂郷村	21.0	勝田市	7.5
5	御前山村	20.6	荃崎町	7.6

図一 自然動態の推移 — 茨城県 —



図一六 社会動態の推移 — 茨城県 —



表一三 社会増加率，移動率の高い(低い)主な市町村

(社会増加率)					(移動率)				
順位	上位5団体		下位5団体		順位	上位5団体		下位5団体	
	市町村名	社会増加率%	市町村名	社会増加率%		市町村名	移動率%	市町村名	移動率%
1	守谷町	10.67	美和村	△1.27	1	守谷町	19.75	美和村	3.92
2	瓜連町	4.76	牛堀町	△1.18	2	つくば市	15.92	桜川村	3.98
3	竜ヶ崎市	4.04	大子町	△0.83	3	阿見町	13.38	七会村	4.16
4	五霞村	3.02	日立市	△0.74	4	藤代町	13.00	大和村	4.27
5	藤代町	2.98	笠間市	△0.71	5	土浦市	12.96	緒川村	4.32

表-4 世帯数増加率等の推移 — 茨城県 —

年	人口増加率 (%)	世帯数増加率 (%)	世帯数増加率		1世帯当たり 人員(人) (10月1日)		
			対前年比 (ポイント)	人口増加率	対前年比 (ポイント)	対前年比 (人)	
昭和 51	1.50	2.00	△ 0.57	1.33	△ 0.19	3.95	△ 0.03
52	1.58	2.11	0.11	1.34	0.01	3.93	△ 0.02
53	1.94	2.80	0.69	1.44	0.10	3.90	△ 0.03
54	1.96	2.94	0.14	1.50	0.06	3.86	△ 0.04
55	1.72	2.29	△ 0.65	1.33	△ 0.17	3.69	△ 0.17
56	1.49	1.95	△ 0.34	1.31	△ 0.02	3.67	△ 0.02
57	1.53	2.13	0.18	1.39	0.08	3.65	△ 0.02
58	1.24	1.87	△ 0.26	1.51	0.12	3.63	△ 0.02
59	1.03	1.50	△ 0.37	1.46	0.05	3.61	△ 0.02
60	0.94	1.56	0.06	1.66	0.20	3.59	△ 0.02
61	0.78	1.53	△ 0.03	1.96	0.30	3.57	△ 0.02
62	0.91	1.78	0.25	1.96	△ 0.06	3.54	△ 0.03
63	1.00	1.90	0.12	1.90	0.29	3.51	△ 0.03
64・平成元	1.00	2.19	0.29	2.19	—	3.47	△ 0.04

注) 1世帯当たり人員 = $\frac{\text{総人口}}{\text{総世帯数}}$